

(株)ジャパディスプレイ サステナビリティレポート2022 環境データ集

1. 環境測定データ

当社(国内拠点)の環境測定データ2021年度実績を下表に示します。

水質管理

生活環境項目

工場名	放流先	BOD ^{*1} (mg/L)					COD ^{*2} (mg/L)					SS ^{*3} (mg/L)					水素イオン濃度 (pH)				
		法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値
茂原①	河川	10	8	0.5	1.4	4.2	25	20	3.1	3.8	4.6	20	15	<0.5	1.1	3.7	5.8~8.6	6.0~8.4	7.4	7.4	7.7
茂原②	河川	10	8	<0.5	1.3	1.7	25	20	3.5	4.1	4.7	20	15	<0.5	1	3.2	5.8~8.6	6.0~8.4	7.0	7.4	7.5
鳥取	下水道	600	450	43	159	300	-	-	-	-	-	600	300	11	40	96	5.0~9.0	6.0~8.7	7.0	7.1	7.3
東浦	河川	15	12	<0.5	0.9	3.7	10	8	1.3	2.8	5.2	15	12	<1.0	1.2	3	5.8~8.6	6.0~8.3	7.3	7.4	7.6
石川	河川	80	29	5.8	7.5	8.5	160	125	2.8	2.9	2.9	120	60	1	4	6	5.8~8.6	6.1~8.2	7.3	7.4	7.5

工場名	放流先	ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)					フェノール類 (mg/L)					りん (mg/L)					窒素 (mg/L)				
		法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値
茂原①	河川	2	1.6	<0.5	<0.5	<0.5	0.50	0.40	<0.05	<0.05	<0.05	16	6.4	<0.1	<0.1	<0.1	120	80	11	18.8	16
茂原②	河川	2	1.6	<0.5	<0.5	<0.5	0.50	0.40	<0.05	<0.05	<0.05	16	6.4	<0.1	<0.1	<0.1	120	80	23	19.5	36
鳥取	下水道	5	2.5	<1.0	<1.0	<1.0	5	2.5	<0.1	<0.1	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東浦	河川	2	1.6	<0.5	<0.5	<0.5	5	4	<0.05	<0.05	<0.05	1	0.8	0.07	0.15	0.29	10	8	1.4	2.3	2.8
石川	河川	5	4	<0.5	<0.5	<0.5	5	4	<0.1	<0.1	<0.1	16	14.9	2	3.3	4.3	120	95	4.3	5.7	6.7

有害物質

工場名	放流先	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)					ほう素及びその化合物 (mg/L)					ふっ素及びその化合物 (mg/L)				
		法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値	法等の規制値	自主基準値	最小値	平均値	最大値
茂原①	河川	100	80	9.1	16.1	14.4	10	8	0.10	0.12	0.14	8	6.4	0.2	0.9	0.7
茂原②	河川	100	80	19.6	16.6	28.0	10	8	0.28	0.35	0.60	8	6.4	1.1	0.9	1.9
鳥取	下水道	380	190	1.1	4.9	11.9	10	5	<0.2	<0.2	<0.2	8	5	0.2	1.7	2.7
東浦	河川	100	80	1.0	2.0	2.5	10	8	<1.0	<1.0	<1.0	8	6.5	2.2	3.4	4.8
石川	河川	100	80	3.0	3.3	4.0	10	8	<0.1	<0.1	<0.1	8	6	0.5	0.7	0.9

*1 Biochemical Oxygen Demand (生物学的酸素要求量) *2 Chemical Oxygen Demand (化学的酸素要求量) *3 Suspended Solids (浮遊物質)

大気管理

工場名	対象設備	台数	ばいじん ^{*4} (g/Nm ³)			窒素酸化物 ^{*5} (vol ppm)			硫黄酸化物 ^{*6} (Nm ³ /h)		
			法等の規制値	自主基準値	実績	法等の規制値	自主基準値	実績	法等の規制値	自主基準値	実績
茂原	貫流ボイラー	20	0.1	0.01	<0.01	150	120	27	-	-	-
鳥取	貫流ボイラー	7	0.1	0.05	<0.001	150	75	29	-	-	-
	吸収式冷凍機	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東浦	炉筒煙管ボイラー	4	0.1	0.08	0.007	150	120	34	-	-	-
	多管式貫流ボイラー	7	0.1	0.08	0.003	150	120	42	-	-	-
石川	貫流ボイラー	3	0.3	0.15	0.003	180	105	74	2.05	0.28	0.015
	炉筒煙管ボイラー	2	0.3	0.15	0.005	180	164	100	6.4	3.21	0.192
	ガスタービン	4	0.05	0.025	0.003	70	58	57	9.53	5	0.22

*4 ばいじん: すずや燃えかすの固体粒子状物質のこと。 *5 窒素酸化物: 窒素原子(N)と酸素原子(O)が結合し生成される物質の総称。

*6 硫黄酸化物: 硫黄と酸素との化合物で二酸化硫黄(亜硫酸ガス)を主とし、三酸化硫黄などを含む総称。

(13台休止中、測定データは稼働中の7台分)

(2台休止中)

騒音・振動管理

単位: dB

工場名	区分	時間帯	法等の規制値	自主基準値	実績(最大値)
茂原	騒音	朝	65	60	54
		昼間	70	65	57
		夕	65	60	54
		夜間	60	57	55
	振動	昼間	65	60	41
		夜間	60	55	39
鳥取 ^{*7}	騒音	朝	70	70	52
			65	65	41
		昼間	70	70	50
			65	65	50
		夕	70	70	48
			65	65	43
		夜間	65	65	47
			50	50	43
	振動	昼間	65	65	33
		夜間	60	60	29
東浦	騒音	朝	55	55	54
		昼間	60	60	54
		夕	55	55	54
		夜間	50	50	50
	振動	昼間	60	40	23
		夜間	55	40	23
石川	騒音	朝	60	60	45
		昼間	65	65	46
		夕	60	60	48
		夜間	50	50	48
	振動	昼間	65	50	39
		夜間	60	50	37

*7 騒音規制区域は工場敷地境界の位置で異なり2通りあります。

臭気管理

工場名	項目	物質	単位	法等の規制値	自主基準値	実績	物質	単位	法等の規制値	自主基準値	実績	物質	単位	法等の規制値	自主基準値	実績		
茂原	1号規制(敷地境界)	-	臭気指数	14	14	<10	-			-								
鳥取	1号規制(敷地境界)	アンモニア	ppm	5	5	<0.1	硫化水素	ppm	0.2	0.2	<0.002	キシレン	ppm	1	1	<0.1		
		トルエン	ppm	10	10	<1	-			-								
	2号規制(気体排出口)	アンモニア	m3/h	690	690	<0.0017	トルエン	有機除害排気塔	m3/h	1200	1200	-	キシレン	有機除害排気塔	m3/h	120	120	-
		-						有機除害大気開放口	m3/h	890	890	<0.018		有機除害大気開放口	m3/h	89	89	<0.0018
-						有機除害浄化ガス出口		m3/h	1100	1100	-	有機除害浄化ガス出口		m3/h	110	110	-	
3号規制(排水水)	硫化水素	mg/L	0.2	0.2	<0.0005	-			-									
東浦	1号規制(敷地境界)	-	臭気指数	18	15	<10	-											
	3号規制(排水水)	-	臭気指数	34	27	<3	-											
石川	1号規制(敷地境界)	アンモニア	ppm	2	1	<0.1	メチルメルカプタン	ppm	0.004	0.0012	<0.0002	硫化水素	ppm	0.06	0.018	<0.0005		
		硫化メチル	ppm	0.05	0.01	<0.0005	二硫化メチル	ppm	0.03	0.009	<0.0009	トリメチルアミン	ppm	0.02	0.006	<0.0005		
		プロピオン酸	ppm	0.07	0.03	<0.005	ノルマル酪酸	ppm	0.002	0.001	<0.0002	ノルマル吉草酸	ppm	0.002	0.0009	<0.0002		
		イソ吉草酸	ppm	0.004	0.001	<0.0002	アセトアルデヒド	ppm	0.1	0.03	<0.005	プロピオンアルデヒド	ppm	0.1	0.03	<0.005		
		ノルマルブチルアルデヒド	ppm	0.03	0.009	<0.001	イソブチルアルデヒド	ppm	0.07	0.021	<0.002	ノルマルバレールアルデヒド	ppm	0.02	0.006	<0.002		
		イソバレールアルデヒド	ppm	0.006	0.0018	<0.001	イソブタノール	ppm	4	1.2	<0.09	酢酸エチル	ppm	7	2.1	<0.3		
		メチルイソブチルケトン	ppm	3	0.9	<0.1	トルエン	ppm	30	9	<1	スチレン	ppm	0.8	0.24	<0.04		
		キシレン	ppm	2	0.6	<0.1	-			-								
	3号規制(排水水)	メチルメルカプタン	mg/L	0.01	0.003	<0.001	硫化水素	mg/L	0.07	0.02	<0.005	硫化メチル	mg/L	0.3	0.07	<0.01		
		二硫化メチル	mg/L	0.4	0.09	<0.01	-			-								

2. PRTR届出物質

当社(国内拠点)のPRTR制度に基づく2021年度届出実績を下表に示します。

PRTR届出物質一覧

化学物質名称	排出量				移動量			
	大気		公共水域		下水道		事業所外	
	2020年度	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
酢酸2-メトキシエチル	22	7	0	0	0	0	0	0
2-アミノエタノール	68	40	307	80	0	0	0	0
ふっ化水素及びその水溶性塩	1,180.8	1,033.0	0	0	0	0	880	0
ほう素化合物	0	0	0	0	0	0	0	0
インジウム及びその化合物	0	0	83	82	0	0	840	1,128
モリブデン及びその化合物	0	0	327	580	0	0	8,801.7	7,201.2

なお、排出量のうち、当該事業所における土壌、埋立処分及び塩化第2鉄の排出量、移動量の実績が「0」のため記載しておりません。

3. 環境会計

当社(国内拠点)の環境保全に関する投資、費用、効果について、2021年度実績を下表に示します。

環境保全コストまとめ

大分類	項目	内容	単位：百万円	
			投資	費用
環境保全コスト ※8 (事業エリア内コスト)	公害防止コスト	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、悪臭等の防止のためのコスト	0	1,618
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止及び省エネルギー、オゾン層破壊防止等のためのコスト	0	53
	資源循環コスト	資源の効率的利用、産業廃棄物・一般廃棄物のリサイクルや処理・処分等のためのコスト	0	1,002
合計			0	2,673

※8 環境関連の分析・測定費用も事業エリア内コストに含む。

環境保全効果まとめ

大分類	分類	項目	効果	単位
環境保全効果 (物量単位)	環境負荷及び廃棄物に関する 環境保全効果 ※9	エネルギー起源CO ₂ 排出量	40	千t-CO ₂
		廃棄物等排出量	392	t
環境保全対策に伴う 経済効果	環境負荷及び廃棄物に関する 事業収入	有価物売却額	18	百万円

※9 生産量の変化を考慮すべく、環境会計ガイドラインを参考に定めた以下の式で求めた値
効果 = 前年度排出量 × (当年度基板面積/前年度基板面積) - 当年度排出量